

まほろば

病院の理念



生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います

第108号

2010年7月
発行

待ちに待った病棟建替整備



現在の病棟は、西病棟(S41.3築)、東病棟(S42.5築)、南病棟(S51.3築)、母子医療センター(S63.11築)で運営しておりますが、老朽化が著しく、耐震上の問題、現代医療への対応も困難な状況等から病棟建替を検討し、機構本部へ病棟建替償還計画を提出していたところです。その後、幾度か機構

本部等とのヒアリングを行い、平成20年3月に機構本部から病棟建替整備の承認をいただきました。約2年にかけて基本設計、実施設計に十分な時間を費やし、6月29日に病棟建替整備の入札を行い、建築・電気・機械設備のそれぞれの落札業者と契約を取り交わしたところです。

待ちに待った病棟建て替えの工事が始まります。建築場所は、現在更地となっている旧看護学校跡地に整備し、来年6月末に完成する予定です。

病棟は、鉄筋コンクリート7階建で、1階は手術室・中材室・エネルギー室、2階は母子医療センター42床、3階~7階は5ヶ病棟(60床×5=300床)の342床です。

各病棟には、特別室、重症者室、4人室で構成され、特別室にはトイレ・シャワー・洗面台等、重症者室にはトイレ・手洗器等、4人室にはトイレ・洗面台等を整備することとしております。

これまで患者様から施設・設備等が古くなってきていたので整備してほしいとのご意見やご要望がありました。ようやく実現できます。楽しみにしてください。

今後とも「患者の目線に立った医療を提供する」とともに、地域医療に貢献していきたいと、思っております。引き続き弘前病院をよろしくお願いいたします。

事務部長 村上 良弘



(完成予想図)

夜空に煌めく大輪の華 — 第5回古都ひろさき花火の集い —

平成18年、弘前市・岩木町・相馬村の合併による「新弘前市誕生」を記念して開催された「ひろさき市民花火の集い」。「古都ひろさき花火の集い」と名前を変え、今年で5回目を迎えました。6月19日(土)、岩木川河川敷運動公園を会場に、約5万人の観客を集めて開催されました。15時会場まもなく強い雨が降りましたが、その後は雲の切れ間から半月ものぞき、青森県内最大級の11,000発の花火が次々と打ち揚げられ、咲き競う大輪の華のように夜空に煌めいていました。

今年は、有料観覧エリア内にオートキャンプエリアも設けられ、16時からのステージアトラクションの開始時刻には既にたくさんの見物客で会場内は賑わい、待ちに待った19時半打ち揚げ開始。よさこいと打ち揚げのタイミングのぴったり合った花火の競演や、全国各地の花火の尺玉競演等、趣向を凝らしたイベントもとても見応えがありました。中でもディズニーランドでお馴染みの「エレクトリカルパレード」の曲に合わせた花火は、ミッキーマウスの形に広がるものや、遙か上空で大きく華開き、きらきらと煌めいて頭上に

降り注ぐ尺玉など、怒濤の打ち上げで瞬き出来ない程の迫力と美しさでした。今年も観客の声に応え、花火大会では滅多にない「アンコール」打ち揚げもあり、大満足の1時間半でした。

入院係 工藤 真淑



市民講座「メンタルヘルスの基礎知識」—うつ病についての基本事項を中心に—

今回（5月）の市民講座は、青森県精神保健福祉センター所長の岩佐博人先生のお話でした。青森県の自殺対策で中心的に活動されている先生のお話を聴こうと、大勢の参加（67名）がありました。

先生のお話は自殺者数の年次推移、青森県の自殺の現状についての解説から始まり、その大きな要因となっている「うつ病」の病態と治療について説明されました。先生が特に強調されたことは、「うつ病」は精神的なストレスなどさまざまな要因によって引き起こされる脳の機能的な異常であり、当人も周りも、放置してはいけない病気、ということでした。「うつ病」の患者は、失敗や問題発生に際して、激しく自分を責めてしまい、

もうそれ以上頑張れない心理的・肉体的状態にあるとのこと。これでは辛すぎます。さあ、今日からは、もう、一人で悩まない、もう、一人で悩ませないことにしましょう。そのためにも、たとえ失敗があっても、ある程度のことは受け入れてくれる優しい社会、そう、「タフでなくても生きていける社会」が求められていると感じました。

臨床研究部長 泉井 亮



AED職員研修

6月の毎週金曜日4日間にわたり、全職員を対象にAED（自動体外式除細動器）研修が開催されました。

AEDは、一般市民も使用できるようになつたことから、いろいろな場所で見かけるようになりましたが、院内にも各階エレベーター前他、計4台の設置があります。

研修では、倒れている人を発見したことを想定し、反応を確認後、人を呼び、AED・Drコールを要請、人工呼吸・胸骨圧迫（心臓マッサージ）を開始、AED到着後、速やかにショックを実施するという内容を実際に行いました。

突然の心停止はいつ、誰に起こるかわからない死亡原因の一つで、その多くは心室細動と呼ばれるものが原因です。有効な治療法は、電気ショックによる除細動ですが、突然心停止を起こした場合の救命率は、除細動が1分遅れるたびに約10%の割合で低下すると言われています。救命のためには、できるだけ早く除細動を行うことが重要になってきます。今後も、緊急時に備え、迅速かつ的確に対応できるよう定期的に研修を実施していきたいと思います。

西2病棟副看護師長 永澤 晶子

医療費について

今回から3回シリーズで「医療費」について掲載いたします。今月は、医療費のお支払いについてお話をさせていただきます。

病気やけがを医療機関で治療してもらうとは費用がかかりますが、医療保険にはいっていることで、費用の一部のみを支払えば良いことになっています。これを一部負担金と呼んでおり、年齢や、保険の種類等により1割であったり3割であったりします。残りの費用は加入している医療保険から医療機関に支払われます。

次に、費用の内訳についてですが、従来は会計時に、領収書を患者様に発行しておりましたが、今年4月から領収書の他に、医療費の内容のわかる明細書を交付しております。

これにより患者様自身どのような診療が行われたのかが、より理解できるようになったと思います。明細書をご覧になり、もし不明な点等がございましたら、会計窓口でご遠慮なくお話ください。

次回は、「医療費についての相談」について掲載したいと思っております。 医事専門職 石川 修

7/28 ☆新メニュー☆実戦投入！— 中華そばが整いました！—

お待たせしました！やっと、細めんの『中華そば』を提供する準備が整いました！本誌上で試作のエピソードや途中経過を報告してきましたが、この度、諸問題をクリアしての実戦投入に至りました。ずっと支那そばでご紹介してきましたが、『中華そば』で提供させて頂きます。えっ!?支那そばと『中華そば』は同じラーメンじゃないか？って、?!いえいえ違います。支那そばのスープの基本は、【焼き干しのみ！しょうゆ味】で臭い・味が共にとんがっています。一方の『中華そば』のスープは、トリガラやラードが加わり、マイルドに仕上がります。現場では試作段階で大ゲンカ状態！（皆、強情張りなので…）と、調理師個々の味のコダワリがぶつかり合いました。「おめえのは支那そばでねえ！中

華だべ！」「めえば（美味しいなら）いいんでねえが！」「ワの支那そばはこれだ！」「これだば、患者さんが生臭くて気持ち悪いべ！」「口の中サ、臭みが残る」「支那そばにするのが!?中華にするのが!?'といった具合に調理師の熱い思いが入った逸品です。さらに、食べた患者さんの反応も『中華そば』となるとコダワる辛口な方も多いと予測されます。まさに《作る側と食べる側》との闘いの幕が開こうとしております。是非！お楽しみに！

栄養管理室長 篠島 良介



外来診療一覧

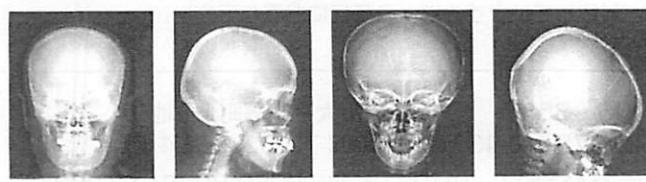
◆外来医師診療一覧表 (2010年7月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		人見博康	人見博康	人見博康	人見博康	人見博康
呼吸器科		山本勝丸	中川英之	中川英之	山本勝丸	中川英之
消化器・血液内科	太田健	週毎に交替で担当 ①吉谷/松木 ②松木/太田 ③太田/吉谷	太田健	太田健	—	
	吉谷元	松木明彦	吉谷元	松木明彦		
	佐藤年信	—	佐藤年信	—	佐藤年信	
小児科	三上珠希	野村由美子	杉本和彦	野村由美子	野村由美子	
	杉本和彦	佐藤工	三上珠希	佐藤工	杉本和彦	
	—	—	佐藤次生	佐藤次生	—	
外科	田澤俊幸	高橋克郎	横山昌樹	横山昌樹	三上勝也	
	三上勝也	三上勝也	田澤俊幸	高橋克郎	横山昌樹	
整形外科	柿崎寛	柿崎寛	秋元博之	秋元博之 又は大鹿周佐	柿崎寛	
	大鹿周佐					
	田中直	佐々木規博	大鹿周佐	能見修也	秋元博之	
	午後	—	—	—	柿崎寛	
脳神経外科	—	—	木村正英	—	—	
皮膚科	午前	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行
	佐藤正憲	熊野高行	熊野高行	佐藤正憲	佐藤正憲	
	午後	●予約	●手術/検査	●予約	●手術/検査	●予約
泌尿器科	大和隆	大和隆	大和隆	大和隆	大和隆	大和隆
産婦人科	真鍋麻美	片桐清一	真鍋麻美	●妊婦検診 (一般外来休診)	片桐清一	
	柞木田礼子	小笠原智香	小笠原智香		柞木田礼子	
眼科	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	蒔苗順義	
耳鼻咽喉科	黒田令子	黒田令子	●手術 (一般外来休診)	黒田令子	黒田令子	
	二井一則	二井一則		二井一則	二井一則	
放射線科	診断	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄	佐々木幸雄
	治療	—	—	川口英夫 (午後)	—	—
女性専用外科		杉本菜穂子(※予約制/第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		—	—	—	今充	—

※学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

〈シリーズ 診療放射線科〉外科系撮影(CRシステム)

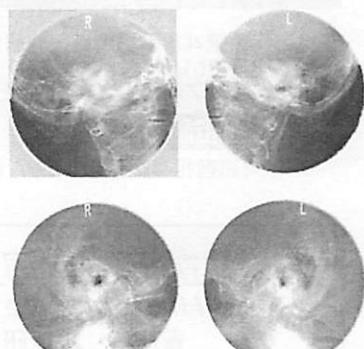
CRにより、頭蓋外観や石灰化像、頭蓋内圧亢進による変化(小児の縫合離開、指圧痕、成人ではトルコ鞍の変化)や外傷による骨折などが、より明瞭に描出される。また、頭蓋表面(皮下)にあるシャントチューブなども描出できる。 診療放射線技師長 長尾 真人



成人頭部正面 成人頭部側面 小児頭部正面 小児頭部側面

【側頭骨】

Stenvers法



Schuller法

【ふるさと紹介】— 山形県山形市 —

私のふるさとは、山形県山形市なので、山形について紹介したいと思います。

皆さんもご存じのとおり、山形県は西部にあり、北に秋田県、東に宮城県、南に福島県、新潟県と隣接しています。

私の生まれ育った山形市は、盆地に位置するために寒暖の差が激しく、夏は暑く（38℃になったこともあります。冬は寒いという気候です。そこで、山形市を春夏秋冬に分けて紹介したいと思います。

【春】 4月下旬、山形城跡である霞城公園は約1,500本の桜が咲き誇る山形隨一の桜の名所となっています。弘前の桜まつりにはかないませんが、山形県民の花見といえば霞城公園です。

5月は植木市（薬師まつり）が開催されます。植木市は江戸時代から続き、熊本市、大阪市の植木市と並び、日本三大植木市のひとつです。県内外から植木や露天の出店が軒を並べ、多くの人でぎわいます。

【夏】 8月は東北4大祭りの一つでもある山形花笠祭りが開催され、「ヤッショ、マカショ」と威勢のいい掛け声と花笠太鼓の勇壮な音色、華やかに彩られた山車を先頭に艶やかな衣装と花笠をあしらった笠を手に踊り手が山形市のメインストリートを舞台に群舞いを

繰り広げます。

【秋】 9月は山形市の馬見ヶ崎河川敷で行われる日本一の芋煮会フェスティバルが開催されます。6尺の大鍋に里芋3トン、牛肉1.2トン、コンニャク3,500枚、ネギ3,500本、味付けの醤油700㍑、日本酒50升、砂糖200kg、水6トンで作られます。大鍋であるため混ぜ合わせるときは、バックフォーを使っています。

【冬】 温泉とスキーで知られる蔵王は、1月頃になると樹氷が見られます。雪と氷が創り出す風景は冬しか味わえない神秘的なものです。夜にはライトアップも行われ、日中とは、また違った世界が味わえると思います。

山形=さくらんぼというイメージが強いと思います。確かにそれもそのはず、全国生産量の7割を山形県が占めているようです。しかし、さくらんぼだけでなく、他の特産品として西洋なし（ラフランス）、牛肉、米、そば、ワイン（まほろばの貴婦人）枝豆（だだちゃ豆）、桃、すいか、ぶどう、メロン、柿（庄内柿）などおいしい食べ物が沢山あります。ちいさな町ですがとても良い所です。近くに来たときは、ぜひ山形に寄り道していってください。

西2病棟看護師 高野 愛

～永年勤続表彰伝達式～

平成22年度国立病院機構永年勤続表彰伝達式が4月27日(火)に行われました。

表彰式では、佐藤院長から9名の方々に、表彰状と記念品の授与とお祝いの言葉をいただきました。

【永年勤続30年表彰】

企画課長	谷下田 喜代志
薬剤科長	小山田 光 孝
副臨床検査技師長	濱 中 貴久子
調理師長	田 中 辰 夫
マッサージ師	工 藤 満 昭

今月の川柳

★ 【川柳募集】 あなたの川柳をお待ちしています。

トイレ立つ とたんに呼ばれる 間のわるさ

(右きき)

五月晴れ 術後のリハビリ 犬連れて

(はっこちゃん)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

お知らせ

※毎月、第4水曜日地域医療研修センターにおいて、当院職員による市民講座を開催しております。参加は自由ですので、ぜひ参加下さい。

次回は、7月28日(水)午後5時40分からの予定です。

◆ 患者相談窓口

「患者相談室」のMSW（メディカルソーシャルワーカー）が対応していますので、ご気軽にお尋ね下さい。

発行元 独立行政法人国立病院機構弘前病院
Hirosaki National Hospital
責任者 臨床研究部長 泉井 亮

TEL0172-32-4311 FAX0172-33-8614
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/~hirosaki/>